

# 「 みんなが差別なく生きられる世界 」

熊本県立熊本北高等学校 普通科(文系)・英語科  
総合的な探究の時間 C5班

## 1 研究の動機

現在、国際目標として掲げてあるSDGsの中に、「5. ジェンダー平等を実現しよう」「10. 人や国の不平等をなくそう」がある。近年差別問題に関するニュースが増えている気がする。差別問題に対して正しい知識を持っていても、差別をしてしまうのはなぜか調べたいと思った。また、障がい者に対する差別やLGBTQに対する差別、出身地による差別、男女差別など、様々な差別問題に対して私達に何ができるのかを知りたいと思った。

さらに、障がいを持っている人が暮らしやすい世界を作りたいと思ったから。

## 2 研究の方法

本研究では、様々な差別問題の平等性についての現状を明らかにする。これらを明らかにすることで、具体的に私達が取べき行動や対策を見出すことができる。近年、差別問題に関するニュースが増えているように感じる。学校などで差別問題に関する正しい知識を得ているにも関わらず、差別的な偏見がなくなる。差別問題をなくすために改善すべきことを明らかにすることで、差別的な偏見をなくし、SDGsの一つである「人や国の不平等をなくそう」につなげる。そして、みんなが差別なく生きられる世界の実現を可能にする。

## 3 研究の結果

### 1章 障がい者差別

C5班 2136 渡邊七乃

日本の障がい者就職率は**およそ40%**である。この数字を見て、なぜこんなにも低いのか疑問に思い、障がい者雇用について詳しく調べることにした。現状、どれくらいの企業が障がい者雇用をしているのか。また雇用していない企業との違いは何なのか。障がい者に対する差別を無くし、障がい者雇用を積極的に受け入れていくためには、どのような取り組みが必要なのか考えた。

日本では企業規模に応じて、一定の割合で障がい者の雇用義務がある。しかしながら、雇用義務を負う企業の半数しか雇用出来ていない現状。その中でも、中小企業の割合が多い。

#### 障がい者に対する差別事例

- ・「効率が悪い・仕事にならない」など言われ、勝手に給料を減らされたり、退職させられる。
- ・昇給させてもらえない。
- ・精神障がい者のみ障がい者雇用の対象になっていない。等、職場内いじめ

#### 他国の障がい者雇用制度

他国と日本を比べたとき、雇用方法に大きな違いが見られた。

##### 日本・ドイツ・フランス・韓国

→障がい者を雇用させることを義務とされている。また、企業の雇用達成率が低いほど負担金を払わなければならないシステム。

##### アメリカ・イギリス・ノルウェー・カナダ

→企業に対して雇用義務を設けず、支援組織のサポートによって企業の負担を軽減させている。また、企業の雇用達成率に関わらず、負担金を払う必要はない。

#### ○雇用が義務化されていない理由

→雇用義務制度がかえって障がい者の能力を強調してしまい、差別に繋がりやすくなるという考え方である。

#### 対策

- ・今後もこの義務制度を続けていくのであれば、企業の中で障害者教育をし、従業員の障がい者への理解を深める必要がある。
- ・障がい者と企業とがしっかり話し合い、障がい者が出来ること・出来ないことを、企業が理解することが必要である。

## 2章 出身地によるマナーの違いによる差別

C5班 2127 寺島瑠菜

#### 【仮説】

日本のマナーと世界の国々独自のマナーの違いから嫌悪感を抱き他の国々の人々を遠ざけてしまい差別が生まれる事がある。

## 【結果】

### ●日本と海外とでマナーの違いで起こるトラブルの例

#### 【電車内の会話の有無】

日本の電車内は、話し声がせず異常に静かであると外国人に不思議がられている。逆に日本以外では電車の中でも周囲の人と話す人は多く、日本でも同じ行動をとる外国人は多いため来日して電車を利用する際に大声で通話したり、ビデオ通話をしながら混雑した車内を相手に見せている人がいる。混んでいる電車内での話し声を抑えるということもあまりしないため、通勤通学の日本人客から迷惑がられてしまう。

#### 【行列での横入り】

テーマパークやショッピング、飲食店などでグループのうち一人が列に並び、後から友人が大勢やってきて横入りをする例がある。これらに関しては整理券を発行していたり、列が別の場所に続いている場合もあり、日本語でしか案内がない場合、外国人にはわかりにくいケースもあり店舗や施設運営側の列の誘導があいまいであることも原因としてある。現在では行列ができるラーメン店などが海外でも取り上げられ、列に並ぶことを理解して実践してくれる外国人も増えてきている。

#### 【無断キャンセル】

宿泊施設だけではなく、飲食店の予約のキャンセルも頻発している。反対に予約必須の施設に予約なしで押しかけてしまう人も多い。日本の交通事情、特に乗り換えが複雑でたどり着けなかった人、連絡手段や言葉がわからず連絡できなかった人もいる。しかし、仕入れをして料理や席を準備していた店としては、コスト的にも打撃が大きい。

これらの行為に共通することは外国人は日本のマナーを違反しようとしているのではなくあくまでも自国でマナー違反にあたらないいつものおりの行為をしているだけであるという点である。

#### 【まとめ】

私はこれらの結果から海外からの旅行者が日本の文化を現地で知るすべがないことに問題があると考えた。そこで外国語表示の標識や看板を増やすなどして色んな国の人々が理解できるようにすることでマナー違反を防ぐことができると考えた。それらを実施することでマナー違反に対する嫌悪感からくる差別を減らしていけるのではないかと考えた。

### 3章 スポーツによる差別

C5班 2233 藤田百合

性的マイノリティと称される人々が、社会から差別的な扱いを受ける事例が存在してきたことは認識されている。一方で、スポーツ界ではどのような差別問題があるのかについては十分な認識がなされていない場合が多い。そこでJリーグを軸に実例、すでに行われている改善策、それをふまえて取り組むべき課題について考えた。

#### 【Jリーグ史上最大の人種差別事件】

2014年3月のサッカーJ1リーグの試合において、人種差別であると窺える横断幕が掲示された。掲示したのはホームチームの一部のサポーターグループで「JAPANESE ONLY」と書かれた横断幕等を掲げた。人種差別だと感じた他のサポーターが運営本部に報告したものの、本部は対応することなく試合終了まで放置し、Jリーグの理事長はクラブに対し、最も重い処分である無観客試合の開催を決定した。横断幕を放置したクラブの人種差別に対する意識の低さが露呈した事件となった。

#### 【Jリーグにおける差別問題】

- ・2009年、東京ヴェルディ1969に所属するブラジル人のレアンドロ選手が、ヴァンフォーレ甲府所属の杉山新選手に人種差別的発言を受ける
- ・2014年3月、Jリーグ浦和レッズvsサガン鳥栖の試合において、会場である埼玉スタジアムの入場ゲート付近に” JAPANESE ONLY ” と書かれた横断幕、その後ろに日本国旗（日章旗）と、大日本帝国海軍の軍艦旗であり戦争を象徴する旭日旗を掲げる
- ・2014年、J1第21節横浜F・マリノスと川崎フロンターレの試合にて、横浜F・マリノスのサポーターが川崎フロンターレに所属するブラジル人のレナト選手に対して、バナナを翳して挑発
- ・2015年、2016年、浦和レッズのサポーターがSNSのTwitterを利用して、対戦相手の選手を人種差別的な内容の投稿で侮辱
- ・2017年9月、横浜F・マリノスに所属するキュラソー出身のマルティノス選手に対して、再びSNSのTwitterで人種差別行為

#### 【現在Jリーグで行われている改善策】

##### ◎3つのフェアプレー宣言

- ①ピッチ上のフェアプレー（ルールを守る、審判や相手に敬意を払う）
- ②ファイナンシャル・フェアプレー（健全な経営を行う）
- ③ソーシャル・フェアプレー（差別根絶など社会的責任を果たす）

##### ◎リスペクトワッペンの着用

Jリーグを初め、すべてのカテゴリーの試合において審判団がワッペンを着用  
FIFA（国際サッカー連盟）フェアプレーデイズ期間内に開催されるJリー  
グ・日本代表の試合では、審判団だけでなく両チームの選手全員が着用し、リ  
スペクトの取り組みを広報している

◎差別・暴力根絶宣言

◎横断幕の掲示、プロモーションビデオの上映

### 【取り組むべき課題】

◎指導者層がダイバーシティー（多様性）に対する理解を身につける

スポーツは上下関係が強く、選手は指導者に従うことが求められることが多  
い。そのため、指導者が性的マイノリティに対して理解がなかったり、誹謗中  
傷するような言動を取ったりした場合、当事者は「ここには自分の居場所はない  
と感じ、スポーツから遠ざかってしまう原因になる。そうした事態を避け、誰  
もがありのままにスポーツを楽しむようになるには指導者層から変わって  
いくことが必要だと考える。

◎「いないだろう」から「いるかもしれない」へ

ここで必要なのは「自分のチームに“いるかもしれない”」という意識を持つこと  
だ。「自分のチームに性的マイノリティの人はいないだろう」と思っている指導者  
が多いかもしれないが、指導者の先入観を、「もしかしたら性的マイノリティの  
人がいるかもしれない」という意識へ変えることにより、性的マイノリティの  
人を含むすべての人がスポーツを楽しむことができる。

## 4章 家事・育児の分担

C5班 2328 塚副真梨

今年の7月、ジェンダーギャップ指数2022が公表された。日本は世界ランク146カ  
国中116位で、先進国の中では最下位である。これを見て私は日本の男女差別に興味  
を持ち、身近な家事育児・仕事の分担に注目した。

### 【男女別の家事育児の時間】

日本

乳幼児がいる共働き夫婦の家事の時間

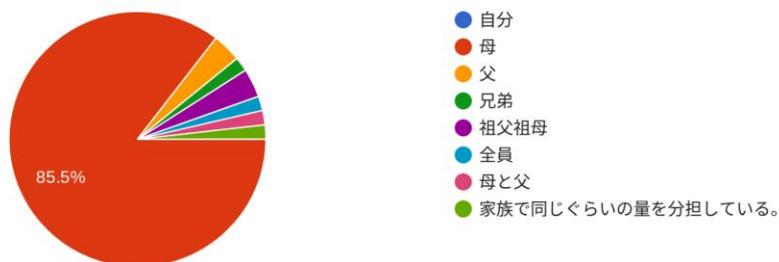
家事 夫 20分

妻 186分（3時間06分） その差166分

育児 夫 47分

妻 222分（3時間42分） その差175分

主に家事を行っているのは誰ですか。  
55件の回答



## 外国と比べてみる

### 乳幼児がいる家庭の妻の家事・育児の時間割合

育児	他6カ国の平均	134分（2時間14分）	
	日本	225分（3時間45分）	その差91分
家事	他6カ国の平均	214分（3時間34分）	
	日本	231分（3時間51分）	その差17分
合計	他6カ国の平均	347分（5時間47分）	
	日本	454分（7時間34分）	その差106分

### 乳幼児がいる家庭の夫の家事・育児の時間割合

育児	他6カ国の平均	63分（1時間03分）	
	日本	49分	その差14分
家事	他6カ国の平均	117分（1時間57分）	
	日本は	74分（1時間14分）	その差43分
合計	他6カ国の平均	180分（3時間00分）	
	日本	83分（1時間23分）	その差97分

これらを踏まえてみると、諸外国に比べて日本の家事育児の分担する割合は妻のほうが圧倒的に多く、夫の方は少ないということがわかる。

### 【なぜ日本は男女で家事育児の分担ができていないのだろうか？】

私は家事や育児は女性がすることだという認識が昔からあり、それが現代まで続いていることと、男性は家事をしないのではなく、勤務時間が長いから家事ができないのではないかと考えた。

### 女性差別

日本の家庭では、未だにお金を稼いでくるのは男性で、女性は育児と家事を行うという考え方が根付いている。その歴史は100年前に遡り、第一次世界大戦後の好景気によって工場や会社が増えたことで、男性は外で働き、女性が家事をする家族が増え始めたようだ。男性が外で働くのは、荷物などを運ぶとき男性の方が多く持てたことや、

## 男性の勤務時間について

日本の男性の労働時間は世界的に見ても長い452分であり、日本の女性（350分程度）と比べても、他国の男性と比べても圧倒的に多い（日本の女性はパートなどが多いため）。定時で帰りにくい雰囲気や、仕事をしなければキリアアップが見込めないのではないかと、給料が下がって家庭を支えられないかもしれないなどの不安があるため長時間労働になることが多い。

### **【家事、育児について異性に感じること】**

#### 妻への不満

- ・家事への不満をぶつけられ、あまり感謝されない
- ・自分の家事にダメ出しをされる
- ・自分の思い通りにならないとイライラしている
- ・完璧にやろうとするので常にピリピリしている。もう少し楽観的な思考も必要。
- ・ご飯がない時がある。弁当を作ってくれない

#### 夫への不満

- ・料理はしても、後片付けはしない
- ・「手伝っている」という意識
- ・進んでやってはくれるが、出来栄が不十分であったり自分の方針と合わないことがある
- ・自分のことを自分で管理できない夫にイライラする
- ・家事育児は母親がメインだと思っている

夫は妻に対して「家事をやっても感謝されない」「細かいことが気になるのはわかるが、あまりうるさく言われたくない」という不満があり、夫なりに努力はしているものの、認められないためやる気がない状態である。また妻は夫に対して「中途半端にするから二度手間になる」という、家事育児の基準が自分と違うことに不満を持つことが多い。

### **【課題】**

- ・男性が仕事、女性が家事や育児をするという考え方をなくす
  - ・男性の勤務時間を改める
- 労働基準法（一日に8時間、週に40時間以上は労働させてはならない）を徹底させる
- ・女性の社会進出とともに男性の家庭進出を進めるべきである
  - ・夫婦間でしっかりと話し合い、夫に家事の仕方を教えたり、多少の違いを認め合う



- ・男性のほうが女性より給料が高い
  - ・同期なのに、男性社員のほうが昇給が早い
  - ・女性は男性より出世しづらい
  - ・セクハラ、パワハラ言動
- などが挙げられる。

実際に女性よりも男性が優遇されている男女差別が多くあることがわかった。

校長先生といたら性別はどっち？

55件の回答



職場での男女差別をなくすには？

- ・女性を保護するための法律を知り、活用する
  - ・女性も男性も、仕事と家庭の両立ができる条件整備
  - ・だれもが利用できる育児介護休業制度の充実
  - ・違法なサービス残業の根絶
  - ・子育て中の変則勤務、夜間・休日出勤、単身赴任などを制限
- など、働き方改革にも繋がるような解決法が挙げられた。

## 6章 LGBTQの人が生きやすい環境

C5班 2228 高森美央

近年LGBTQについての話をよく耳にする機会がある。それは政府が新たな政策を打ち立てていることも関係していると考えられる。しかし、LGBTQの当事者である人々は、現状の対策で快適に暮らせているのか。まだ改善すべきことが残っているのではないか。そこで、LGBTQの正しい知識を調べた。また、LGBTQの当事者の声をもとに現状と取り組むべき課題、周りの人がもつべき考えについて調べた。

[LGBTQについて]

L:女性の同性愛者(Lesbian:レズビアン)

G:男性の同性愛者(Gay:ゲイ)

B:両性愛者(Bisexual:バイセクシャル)

T:こころの性とからだの性との不一致(Transgender:トランスジェンダー)

Q:自らの性のあり方について特定の枠に属さない人、分からない人  
(Queer) (Questioning)

これらの頭文字をとってLGBTQと言われている。

性自認(性同一性)とは、自分の性をどのように認識しているのか、どのような性のアイデンティティ(性同一性)を自分の感覚として持っているかを示す概念。「こころの性」と呼ばれることもある。また、性的指向とは、人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念を言う。具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛(ヘテロセクシュアル)、同性に向かう同性愛(ホモセクシュアル)、男女両方に向かう両性愛(バイセクシュアル)を指す。

### [LGBTQの人が感じている問題の現状]

- ・戸籍上は女性であるが医師に性同一性障害と診断されている者から、職場において男性用施設(更衣室等)を使用させてもらえず精神的苦痛を受けている。
- ・採用試験において、性同一性障害者に対する不適切な質問項目がある
  - ・カミングアウトの不安
  - ・カミングアウトできないストレス
  - ・性的マイノリティを理由に企業の採用試験で落とされる。
  - ・就職活動等でスカートや化粧が求められる。
  - ・法律で同性婚が認められておらず、正式な家族として扱ってもらえない。

### [性的指向や性自認を理由とした人権侵害犯罪事件数]

#### 性的指向を理由とした人権侵害犯罪

平成28年(9件)平成29年(8件)平成30年(7件)令和元年(9件)  
令和2年(4件)

#### 性自認(性同一性)を理由とした人権侵害犯罪

平成28年(6件)平成29年(18件)平成30年(12件)令和元年(8件)  
令和2年(13件)

### [取り組むべき課題]

#### 1. 婚姻制度の見直し

現在、日本国内における同性婚は現行法では認められていない。  
パートナーシップ制度も5割までしか国内に広まっていない。  
パートナーシップ制度は、国が法律で認める「結婚」とは全く違うもので、「相続問題」や「パートナーが命の危機のときにそばにいられない」などの問題がある。  
これらの問題を解決するためにも婚姻制度を見直すべきだ。

#### 2. 性的マイノリティへの周りの人の理解

LGBTQの人に対する差別問題は周りの人の理解と協力が必要。

### [周りの人が持つべき考え]

- ・日常会話で好きになる人が異性であると決めつけた上で会話しない。**性は多様である**という考えを持つ。
- ・性的マイノリティであることを打ち明けてもらえたときは、真摯に話を聞く。
- ・本人の許可なしに他人に暴露しない。  
もし、本人の許可なしに他人に暴露した場合、**人権侵害**にあたる。

#### 4 研究の考察

6つの課題研究から共通して言えることは、差別問題の原因が普通という概念が違うことにあるということである。このことから、普通の基準が人それぞれで違うということを理解し、その多様性を受け入れることが大切だ。そのためには、お互いを理解するため、たくさんの人とコミュニケーションをとる場を増やすこと、教育のなかで多様性について考える機会を増やすといった仮説を立てることができる。具体的には海外留学を多くの人々が体験するなどだが、これは無理があるため、ALTの先生と積極的にコミュニケーションをとるなど、身近なことから挑戦し、お互いの普通を受け入れ合うことが大切だ。

そうすることで、人と違うということを「差別」ではなく、「多様性」として考えることが出来るようになり、差別のない世界につなげることができると考えた。